

環境に関するアンケート調査結果

環境企画課

1 調査目的

今後の環境に係る施策の参考にするため、県民の皆さんの意見や感想を伺いました。

2 調査対象等

調査対象: 県政モニター964人(うちインターネットモニター633人)

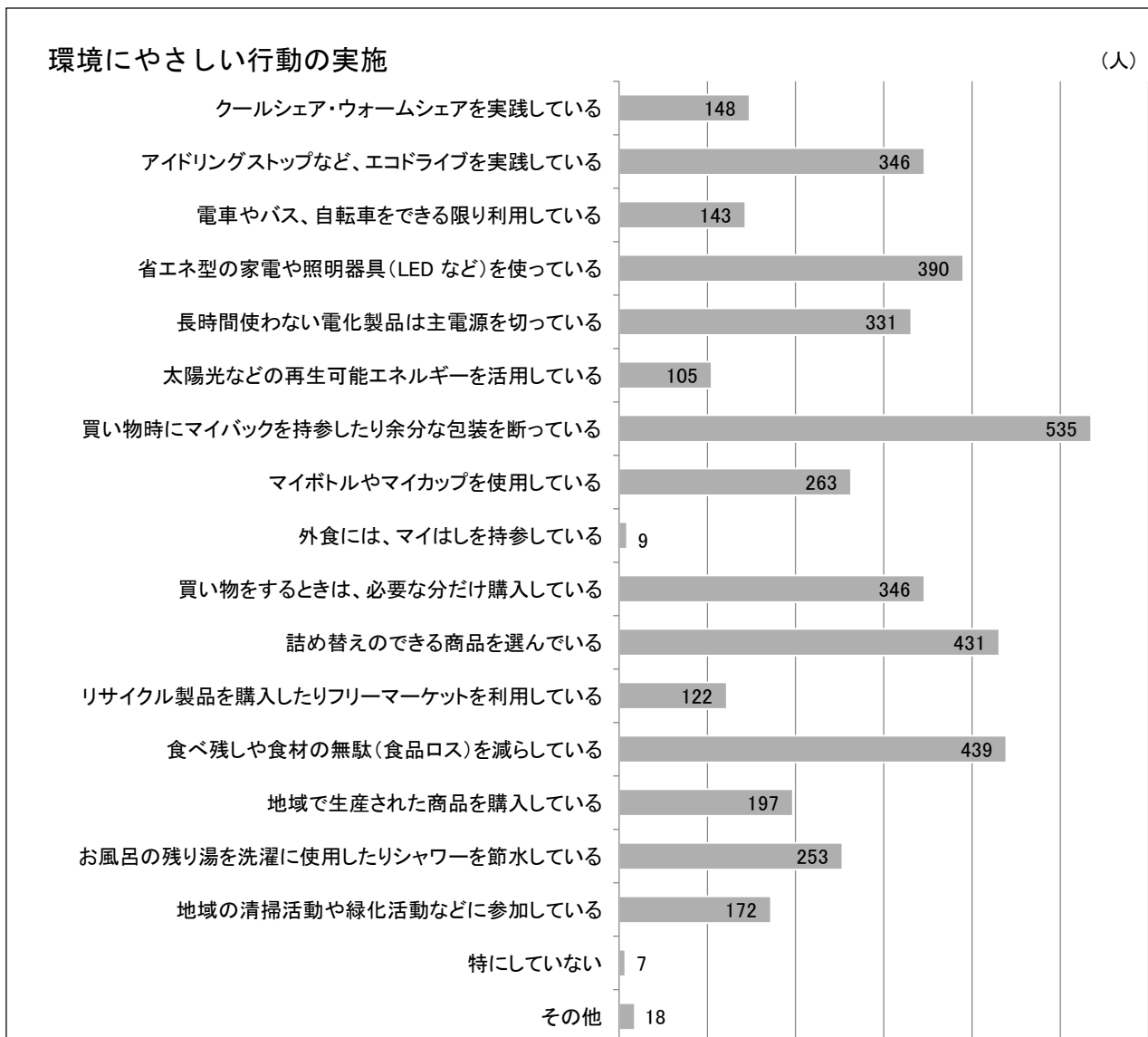
調査方法: 郵送及びインターネット

調査期間: 令和3年12月2日～12月20日

回収結果: 631人(回収率: 65.5%)

構成比はパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。
そのため、合計が100%にならない場合があります。

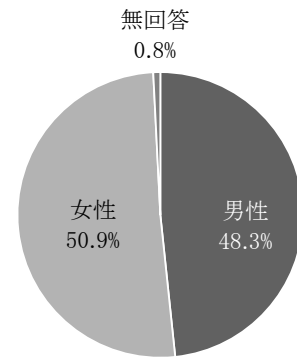
3 結果概要



4 回答者属性

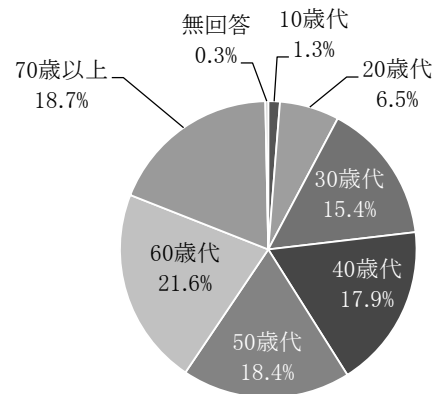
(1) 性別

	人数	割合
男性	305	48.3%
女性	321	50.9%
無回答	5	0.8%
計	631	100.0%



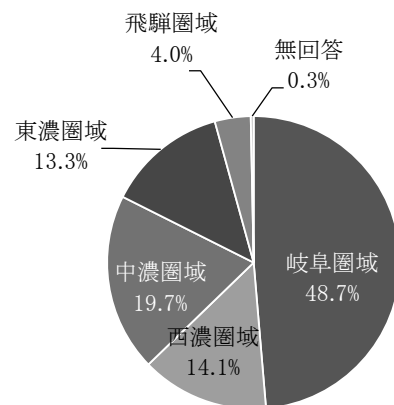
(2) 年代別

	人数	割合
10歳代	8	1.3%
20歳代	41	6.5%
30歳代	97	15.4%
40歳代	113	17.9%
50歳代	116	18.4%
60歳代	136	21.6%
70歳以上	118	18.7%
無回答	2	0.3%
計	631	100.0%



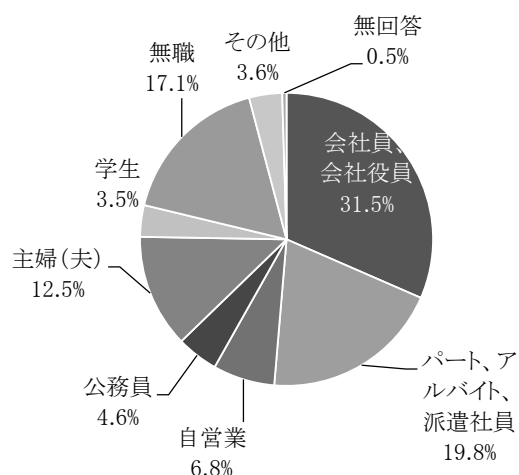
(3) 居住圏域別

	人数	割合
岐阜圏域	307	48.7%
西濃圏域	89	14.1%
中濃圏域	124	19.7%
東濃圏域	84	13.3%
飛騨圏域	25	4.0%
無回答	2	0.3%
計	631	100.0%



(4)職業別

	人数	割合
会社員、会社役員	199	31.5%
パート、アルバイト、派遣社員	125	19.8%
自営業	43	6.8%
公務員	29	4.6%
主婦(夫)	79	12.5%
学生	22	3.5%
無職	108	17.1%
その他	23	3.6%
無回答	3	0.5%
計	631	100.0%

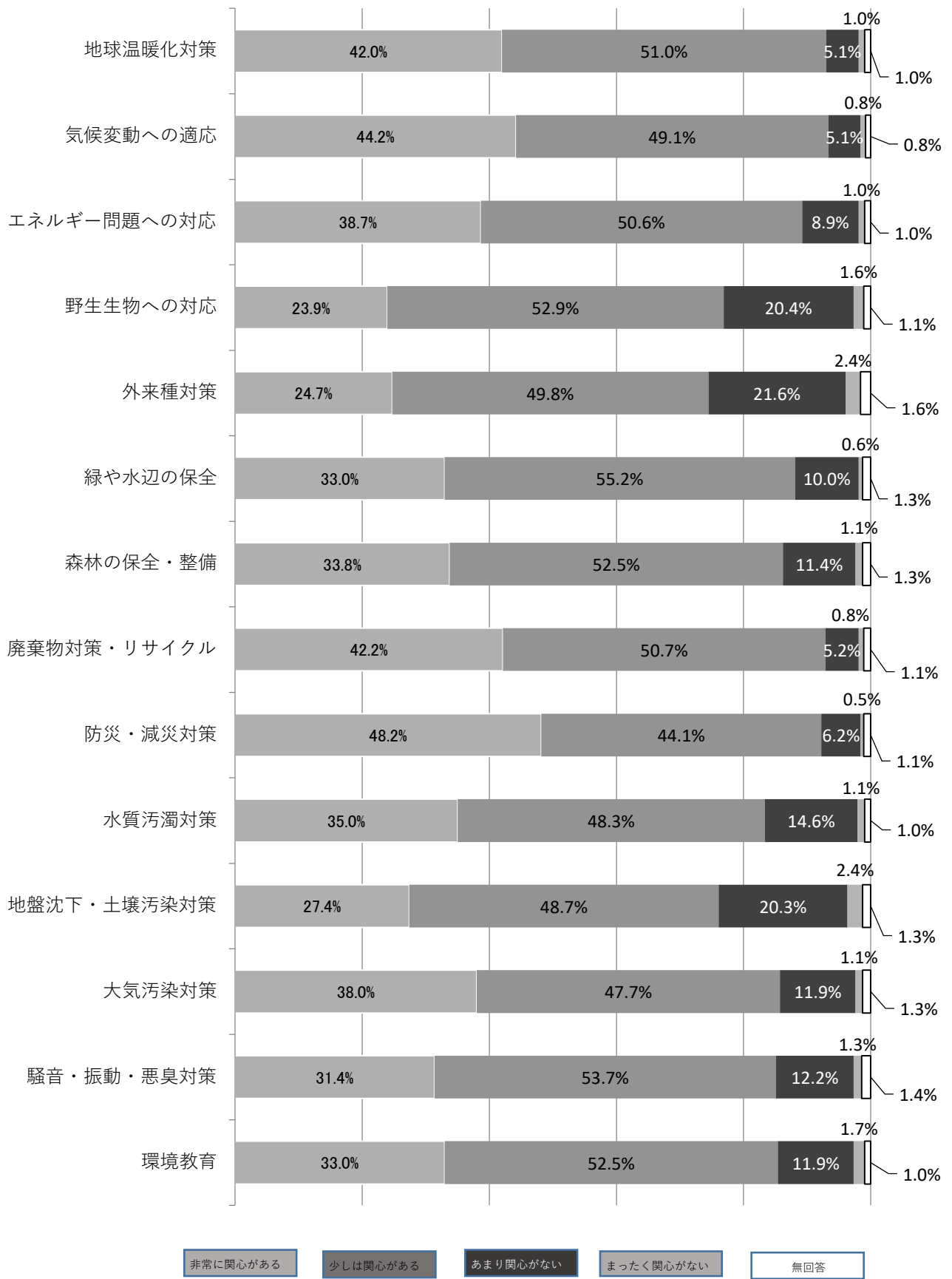


5 調査結果

問1 あなたは、環境に関する以下の項目について、どの程度関心がありますか。

(次の項目それぞれについて回答)

	非常に 関心がある		少しは 関心がある		あまり 関心がない		まったく 関心がない		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
地球温暖化対策	265	42.0%	322	51.0%	32	5.1%	6	1.0%	6	1.0%
気候変動への適応	279	44.2%	310	49.1%	32	5.1%	5	0.8%	5	0.8%
エネルギー問題への対応	244	38.7%	319	50.6%	56	8.9%	6	1.0%	6	1.0%
野生生物への対応	151	23.9%	334	52.9%	129	20.4%	10	1.6%	7	1.1%
外来種対策	156	24.7%	314	49.8%	136	21.6%	15	2.4%	10	1.6%
緑や水辺の保全	208	33.0%	348	55.2%	63	10.0%	4	0.6%	8	1.3%
森林の保全・整備	213	33.8%	331	52.5%	72	11.4%	7	1.1%	8	1.3%
廃棄物対策・リサイクル	266	42.2%	320	50.7%	33	5.2%	5	0.8%	7	1.1%
防災・減災対策	304	48.2%	278	44.1%	39	6.2%	3	0.5%	7	1.1%
水質汚濁対策	221	35.0%	305	48.3%	92	14.6%	7	1.1%	6	1.0%
地盤沈下・土壌汚染対策	173	27.4%	307	48.7%	128	20.3%	15	2.4%	8	1.3%
大気汚染対策	240	38.0%	301	47.7%	75	11.9%	7	1.1%	8	1.3%
騒音・振動・悪臭対策	198	31.4%	339	53.7%	77	12.2%	8	1.3%	9	1.4%
環境教育	208	33.0%	331	52.5%	75	11.9%	11	1.7%	6	1.0%



問2 あなたは、どのような環境にやさしい行動をしていますか。

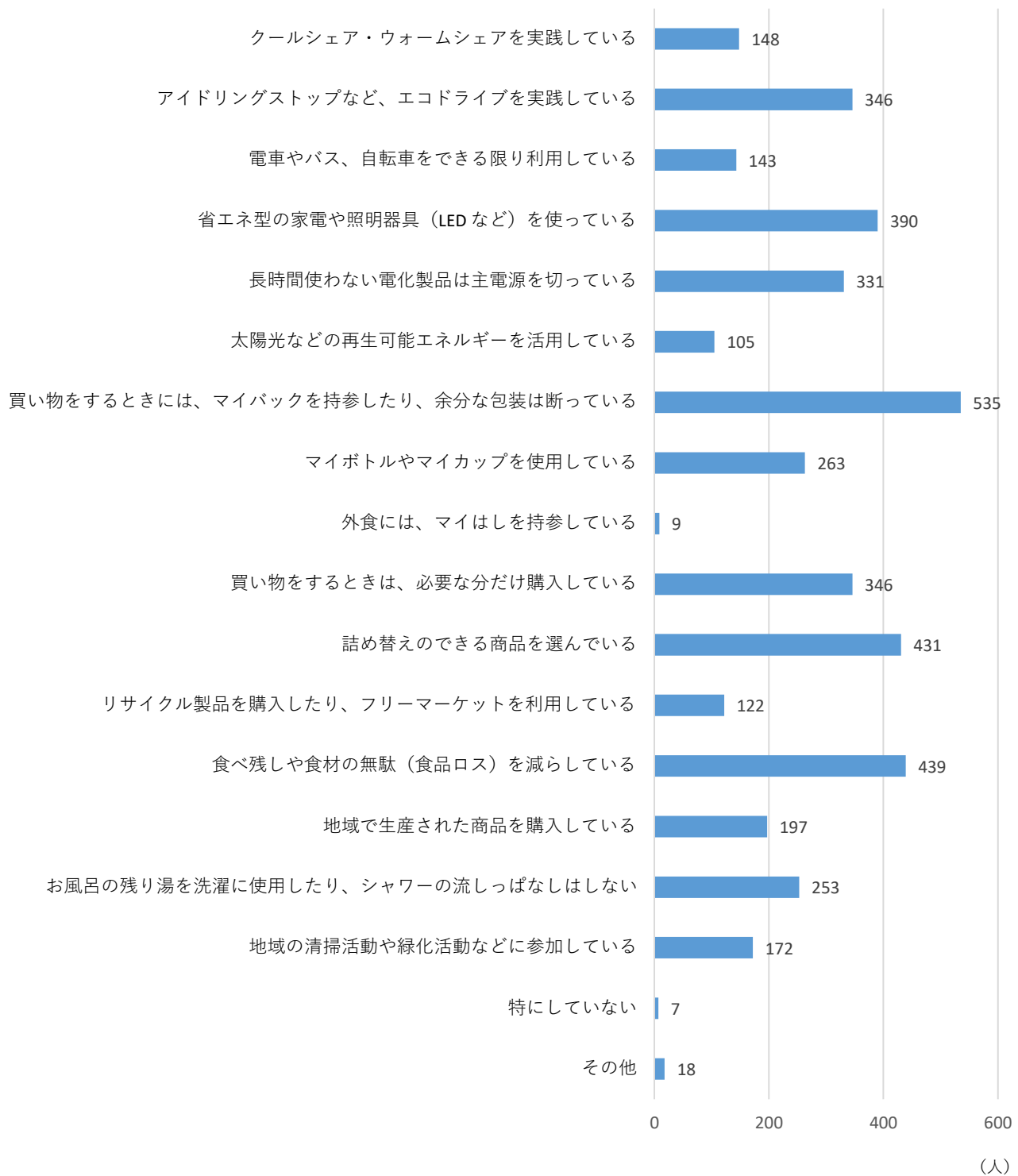
(複数回答)

回答者 631人

	回答数	割合
クールシェア・ウォームシェアを実践している	148	23.5%
アイドリングストップなど、エコドライブを実践している	346	54.8%
電車やバス、自転車をできる限り利用している	143	22.7%
省エネ型の家電や照明器具(LEDなど)を使っている	390	61.8%
長時間使わない電化製品は主電源を切っている	331	52.5%
太陽光などの再生可能エネルギーを活用している	105	16.6%
買い物をするときには、マイバックを持参したり、余分な包装は断っている	535	84.8%
マイボトルやマイカップを使用している	263	41.7%
外食には、マイはしを持参している	9	1.4%
買い物をするときには、必要な分だけ購入している	346	54.8%
詰め替えのできる商品を選んでいる	431	68.3%
リサイクル製品を購入したり、フリーマーケットを利用している	122	19.3%
食べ残しや食材の無駄(食品ロス)を減らしている	439	69.6%
地域で生産された商品を購入している	197	31.2%
お風呂の残り湯を洗濯に使用したり、シャワーの流しっぱなしはしない	253	40.1%
地域の清掃活動や緑化活動などに参加している	172	27.3%
特にしていない	7	1.1%
その他	18	2.9%
計	4,255	

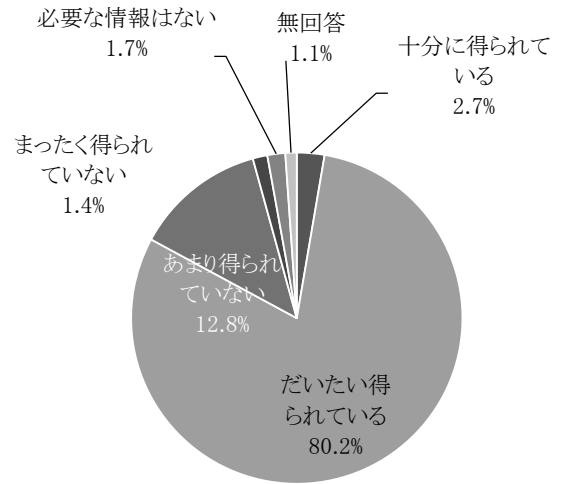
○その他のうち、主なもの

- ・1km以内は極力歩くようにしている
- ・コンタクトレンズのケースをリサイクルできる所に持っていく
- ・エアコンの温度設定に気を付ける
- ・機器のメンテを自分でして長く使う



問3 あなたは、環境問題を考えたり、環境にやさしい行動を実践したりするために必要な情報は得られていますか。

	人数	割合
十分に得られている	17	2.7%
だいたい得られている	506	80.2%
あまり得られていない	81	12.8%
まったく得られていない	9	1.4%
必要な情報はない	11	1.7%
無回答	7	1.1%
計	631	100.0%



(上記で「あまり得られていない」「まったく得られていない」と答えた方)

得られていない情報をお答えください。(主なもの)

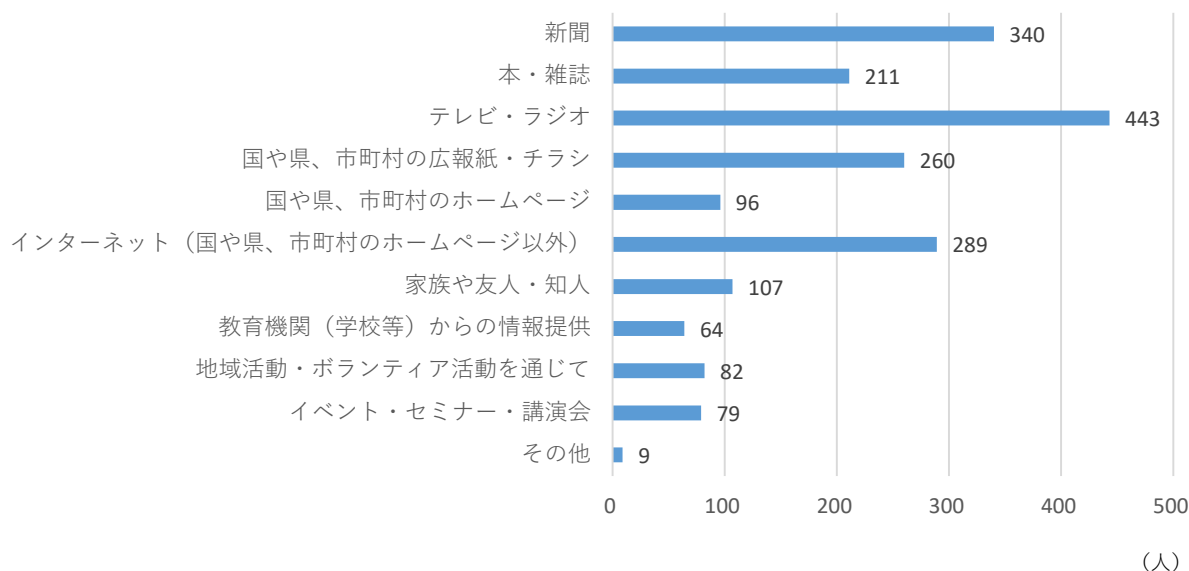
- ・地域で行っている環境関連の行事等わからない
- ・新聞、書籍等で全国的な大まかな情報は目にできるが、岐阜県(地域)の情報は目につきにくい。
- ・専門的な言葉の説明など

問4 (問3で「十分に得られている」「だいたい得られている」「あまり得られていない」と答えた方)

あなたが環境問題を考えたり、環境にやさしい行動を実践したりするために必要な情報を得る主な手段は何ですか。(複数回答)

回答者 604 人

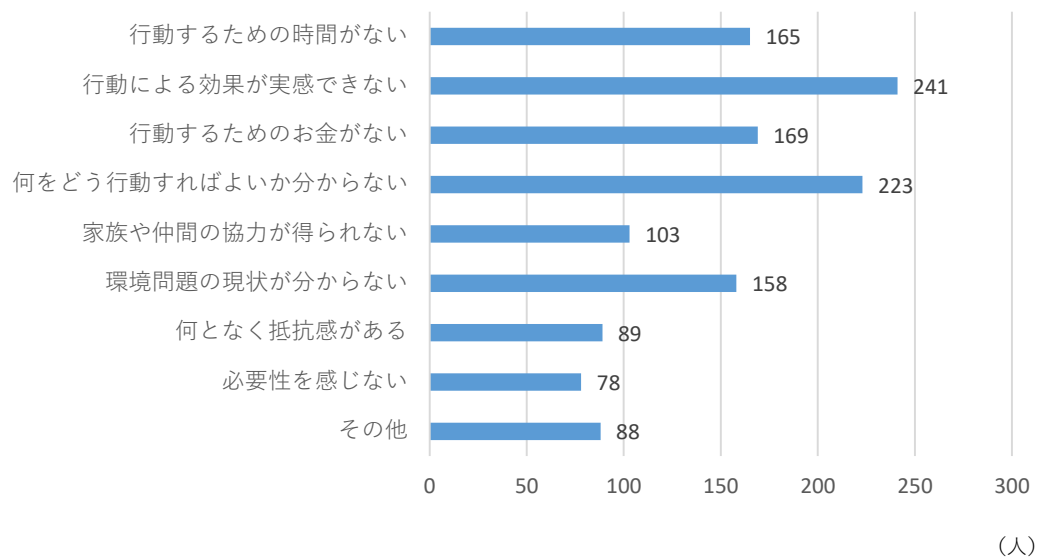
	回答数	割合
新聞	340	56.3%
本・雑誌	211	34.9%
テレビ・ラジオ	443	73.3%
国や県、市町村の広報紙・チラシ	260	43.0%
国や県、市町村のホームページ	96	15.9%
インターネット(国や県、市町村のホームページ以外)	289	47.8%
家族や友人・知人	107	17.7%
教育機関(学校等)からの情報提供	64	10.6%
地域活動・ボランティア活動を通じて	82	13.6%
イベント・セミナー・講演会	79	13.1%
その他	9	1.5%
計	1,980	



問5 あなたが環境にやさしい行動を実践するうえで、難しい点、行動できない、あるいは行動しない理由は何ですか。（複数回答）

回答者 631 人

	回答数	割合
行動するための時間がない	165	26.1%
行動による効果が実感できない	241	38.2%
行動するためのお金がない	169	26.8%
何をどう行動すればよいか分からない	223	35.3%
家族や仲間の協力が得られない	103	16.3%
環境問題の現状が分からない	158	25.0%
何となく抵抗感がある	89	14.1%
必要性を感じない	78	12.4%
その他	88	13.9%
計	1,314	



問6 その他、県の環境行政に関してご意見などがございましたら、お聞かせください。

(主なもの)

- 環境問題は大切なことだということはわかっているのですが、なぜ必要で、どれくらい効果があるのかが分かれば協力したい人がもっと増えると思う。未来のために、みんな協力して何かをやり遂げたいと思っている人はたくさんいると思う。
- 県の環境行政が何をしているのかピンときません。もっとPRしてもらえると良いと思う。
- 最近、いろいろと便利になり過ぎて、人が、便利が当たり前という風潮になり、不便なことを嫌がる傾向が広がっていると思う。涼しい風が吹いているのに、車の窓を閉めエアコンをつけて走っているとか、食品ロスを平気でやっているとか、平気で、その辺りにゴミを捨てるとか、必要でないのにテレビや電化製品を使っているとか。人への啓発活動を、推進してもらいたいと思う。
- 子供たちが環境問題を考え、自ら実践できるような企画をしてほしい。
- 具体的対策がみえない。
- 岐阜県は自然やキレイな川などが豊富なので、継続して自然を保持していけたら良いと思う。
- SDGsなどの言葉はよく聞かすが、具体的にどう行動すればいいのかを具体例を挙げて説明があると嬉しい。子供が小さいので、冷暖房は子供に合わせて使うことが多いし、食品ロスなども子供の食べ残しなども多く実践出来ないことも多い。それがこういったアンケートで「出来ていない」に印をつけなければいけないのはなんとなく悪いことしてるのかなど抵抗が出てしまう。出来る部分だけと思っても、全体で「こうしましょう」と提言されても出来ない人は肩身が狭くなるとも感じる。
- 環境を気にするモノや地産のもの＝値段が高い、というイメージ。実際、変にブランド化しすぎて高いものも多い。もっと手軽になってほしい。
- 各市町村が環境問題について積極的に具体的に動いてほしい。”判る”様にした”資料”の配布等
- コロナ禍での地域活動が途絶えてしまい、コミュニケーションが無いことで、情報が入ってこないことが残念。
- どの政策等についても、経過・結果が知らされない。行政が何をやっているのか分からないことが多いような気がする。
- 河川に捨てられるペットボトル等に関して行政は何をしているのか